健康いちばん

ろっこう医療生活協同組合　2011年 4月号
神戸市灘区水道筋6−7−11／TEL. 078−802−3424／発行人：村上 正治／編集：広報委員会
●組合員数／19035人 ●出資金金額／484400000円 ●平均出資額／25447円(2011年3月30日現在)

灘診療所応援医師 千葉先生からのメッセージ

医療生協の組合員のみなさまへ

東日本大震災により太平洋沿岸地域では地震による倒壊ではなく、むしろその後に引き起こされた津波により未曾有の被害を受けてしまいました。日本のどの地域よりも津波に対する防災意識が高いはずでした。しかしそれをも軽々と粉砕してしまう程の津波であり、死亡原因の9割以上は溺死となっております。現在およそ25万人が避難所生活を強いられている状態です。まだ雪が降り朝方は氷点下の気候が続いており、避難所生活をしている人たちはまだ見ぬ春を心待ちにしています。灯油不足、ガソリン不足が苦境に拍車をかけております。

さて、私こと千葉誠はろっこう医療生協灘診療所にお世話になり3年目を迎えております。たくさんの患者様と知り合うことができ充実した診療を行わせていただいております。ただ平日は岩手県に戻り釜石市、大船渡市で仕事をしております。大船渡市では夜間診療所を1年前に開業し診療を行っておりました。しかし、残念ながらこのたびの地震で診療所は天井まで津波をかぶってしまい診療再開不能となっております。

今回の震災において日赤や医療生協の素早い応援体制には心より感謝しています。皆様方の過去の経験が今の東北において非常に心強い支援になっていることは疑いもない事実です。皆様の力でどうか東北、東日本を支えてください、そして日本を支えましょう。

これから神戸にも被災地から逃れてやってくる人々がいることと思います。兵庫県も受け入れの体制を整えていると聞いております。住み慣れた土地を離れ、不安を抱え言葉も違う関西圏にやってくると思います。そういう人達のためにも心休まる灘診療所になれることを希望し、私の微力な力ではありますが灘診療所での診察も続けさせて頂きたいと願っています。宜しく皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

2011年3月28日　千葉誠

東日本大震災 神戸から届けよう私たちの心

3月11日に発生した東北地方・太平洋沖地震は想像をはるかに超える大災害となりました。ろっこう医療生協では地震発生直後から対策本部を設置して、交流のある福島中央市民医療生協（福島市）への支援を行うとともに、日本医療福祉生活協同組合連合会（医療福祉生協連）と連携して被災地の支援活動に取り組んでいます。

津波の被害が大きかった福島県相馬市
写真提供：福島中央市民医療生協

第一次支援行動は福島へ

3月15日には金丸専務、森本常務の2名が福島へ向かい、交流のある福島中央市民医療生協に医薬品等を届けてきました。時期をみて第2次、第3次の支援行動を計画していきます。

神戸では大募金運動をスタート

震災翌日から診療所の窓口で募金の受付を開始。各ブロックで街頭募金行動も取り組まれました。また、募金用の郵便振替の口座も開設し支援募金の訴えを行っています。3月31日現在116万8060円の募金をお預かりしています。

医療生協の募金はどのように使われるの?

ろっこう医療生協でお預かりした募金は医療福祉生協連（※）を通じて被災した医療生協の支援に充てられます。医療福祉生協連に加盟する6つの医療生協（宮城県の松島医療生協、みやぎ県南医療生協、福島県の福島医療生協、福島中央市民医療生協、郡山医療生協、浜通り医療生協）では多くの被害が発生しています。現地での医療を提供し続けるためにも医療生協への支援を行います。

※正式名称：日本医療福祉生活協同組合連合会（本部：東京都　略称：医療福祉生協連）医療・福祉事業を行う生協の全国連合会

被災地福島からのメッセージ

未来のために、一人ひとりがいま自分にできることを真剣に考えています

福島中央市民医療生活協同組合 専務理事　福地庸之

被災して17日が過ぎようとしています。11日から数日間は大変な混乱で、自分たちの事業所や家族のことしか考えられませんでした。残念ながら在宅の利用者で人工呼吸器を使用している方1名が停電により亡くなりました。無念で仕方ありません。職員や家族には健康的な被害はありませんでした。原発事故から間もなく福島第一原子力発電所近隣の被災地域から、福島市へ2，000名を超える被災者が避難してきました。多くの方は県立高校等の体育館で不安な毎日を過ごされています。度重なる避難所の移動（4～5箇所が当たり前）で辟易している高齢者も多いのが実情です。

福島県は対策本部、福島市は健康推進課が分担して避難所の目配りをしていますが、圧倒的に福島県の避難所（県立高校等）が医療支援や支援物資が偏っている状況です。校長や教頭が分担して避難者の対応をしています。拠点を決めて定期的な訪問が効果的と判断して、この震災が終息するまで避難所の支援を継続していく予定です。

私たちは不幸にして被災しましたが、もっと困っている方のために、どんなことができるのか、一人ひとりの職員が真剣に考え行動しています。

私個人としては3つの反省、「災害対策ができていない」「利用者以外の組合員の生活把握ができていない」「原発反対運動の弱さ」を痛感しています。

原発の動向は予断を許しませんが、こどもたちの未来に向けてどうやって福島のイメージを回復できるのか、国に対しては山ほど言いたいことはありますが、自分のこととして捉えています。長い戦いになりそうです

医師、看護師、介護福祉士、作業療法士でチームを作って避難所へ支援に行く福島中央市民医療生協のみなさん
写真提供：福島中央市民医療生協

福島中央市民医療生活協同組合（本部：福島市）は、福島県で活動する医療生協で、私たちろっこう医療生協とは日常的に緊密な交流があります。村上理事長や谷口副理事長と同期の神戸市出身の医師をはじめ、神戸とゆかりの深いスタッフが多く活動しています。16年前の阪神淡路大震災のときには、その福島中央市民医療生協から義援金や医薬品等の支援をはじめ、スタッフが来神され被災者宅への訪問活動など人的支援もいただきました。今度は私たちが支援する番です。

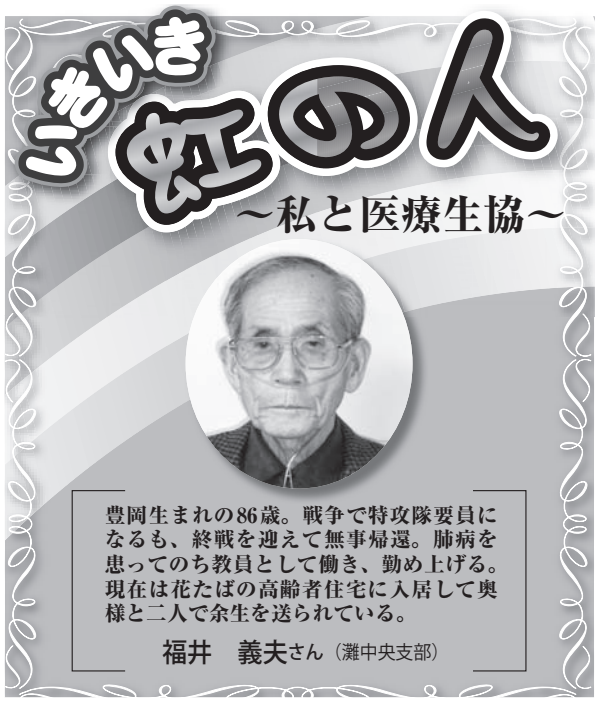
募金の受付は

生協本部および各診療所で受け付けています。
郵便振替もご利用ください

●口座名義：ろっこう医療生活協同組合
●口座番号：00940−2−29687

通信欄に「東日本大震災義援金」と記入してください。東日本大震災の支援行動についてはホームページでも随時お知らせしています。

http://www.rokko-mcoop.or.jp/



『いきいき虹の人～私と医療生協～』では、毎月一人一人の組合員さんにスポットをあてて、その人の魅力やユニークなエピソードをご紹介していきます。ご期待ください。

恐怖の爆撃体験

戦争には海軍予備学生として終戦の10ヶ月前に入隊しました。

入隊後は茨木県の土浦で訓練をしていましたが、訓練中に東京大空襲がありました。東京と土浦は40ｋｍほどしかはなれていません。三陸の方からＢ29の編隊が空いっぱい真っ黒になるほどやってきて、東京中が焼かれました。丸焼けが一週間つづきました。火が出て、煙が出て、大きな火が消えた後も火の粉がチラチラと飛んでいるんです。それが司令官の着ていた軍服の端切れだったり、学用品が燃えてしまってかわいそうだと思いました。

土浦もその後爆撃にあいました。土浦には訓練のための校舎が何十もありましたし、隣には飛行場や工場もありましたから、いつかくるに違いないと思っていました。

最初にグラマンという飛行機が飛んできました。トーチカから2連装の高射砲で防戦するわけですが、トーチカが破壊されると人間目がけて撃ってくるわけです。みんな防空壕目がけて走りましたが、追いかけられ機関銃で打たれました。人間の心理はおかしなもので、草の一本でもかぶっていたら助かるかもとおもって、地面に倒れこむと手元の草を頭に被りました。自分の横を弾が走る。土煙が線になって上がるんです。その線上にいたら死んでいました、あっちにもこっちにも銃弾の線が上がる。そうしているうちにグラマンが引き上げて、Ｂ29がやってきました。校舎に爆弾を落としていくのが見えました。校舎の真ん中に爆弾が落ちたらほんとに絵に書いたように木っ端微塵に吹っ飛びました。

爆撃が終わってもどると、校舎の回りに初期防火用の駐留員がいたのですが、駐留員の防空壕は穴を掘っただけのしょうもないもの。爆風で埋もれてみんな蒸し焼きになっていました。落ちていた靴を蹴ったら中に足が入っていました。惨めなものです。たくさん人が死んで練兵場に薪をならべて、ガソリンを撒いて火葬にしました。たくさん犠牲者がでましたからしょうがないと思って過ごしました。

復員後の生活

その後、土浦にはもういられないので、福井県の三国町へ移動しました。予備学生は特攻隊員でした。いつか特攻機に乗って飛び立つ日がくるといわれていました。実際に飛んだのは九州だけですが、私たちは釜石から三陸沖の空母に向けて突入する予定だといわれていました。幸いにも飛ぶ前に終戦になりました。

復員してしばらくして中学校の教員になりました、しかし肺結核になり3年ほど入院しました。それから小学校などいろいろ渡り歩いて、最終的には中学校の校長をさせてもらいました。

人生はわからないもの

学校をやめてから胃の手術をして全部摘出しました。食道と腸をつないでいるので、よく膵液が上ってきて食道や喉を焼きました。まさか、80歳すぎまで生きているとは思っていませんでした。人間の人生はわからないものです。グラマンに撃たれたとき、肺病になったとき、もう死ぬと思ったけど、生き残っちゃいました。悪運が強いのかな。

肺がほとんど死んでいるから酸素ボンベを吸って過ごしています。ええことは何もないですが、今がいちばんゆったりしています。えらい目にばかりあいました。

四季のカルテ

私のカルテ

六甲道診療所・所長
谷口　敏光

以前ある患者さんが、診察室で、「私が救急車で病院に行かないといけないようなことになったら、何をもっていったらいいでしょうか」という質問をいただいたことがあります。

まずは、保険証でしょうか？…そんなことを訊いているのではなくて、私の身体のこと、病気のことをどうやって、その病院に行ったときに説明したらいいのかということ…そもそも、自分のことを自分で説明できる状態じゃなければどうしたらいいのでしょうか？と

あの薬…

今回の地震で避難された方が、避難所の診療所や初めての病院に、慢性疾患の継続治療をもとめて、たくさんの方が受診されています。

阪神大震災のときに経験した仮設診療所で、交わした患者さんとのやりとりを思いおこします。とにかく、薬が無くなってこまっているといって、のこっている薬や薬袋、または、飲んだ後の空きがらをもってきていただける場合はまだいいのですが、「糖尿病の薬で赤い色の薬」というように言われても、まさか、真っ赤な錠剤はないやろなあとか、台紙（ヒートといいますが）が赤いといわれますが、これが赤いの？ピンク？エンジ色？と、見た目というのはほんとにあてにならないことも多々あり、恐るおそる処方なんてことがありました。薬は間違えば毒にもなりうるものなので、効きすぎない程度が案外無難だったりもします。

しかし、そうはいかない薬も少なくありません。たとえば、心房細動という不整脈の時に、血液の塊が脳へ流れて脳梗塞になるのを防ぐために血液が固まりにくくする薬などは、個人差が大きくて、1日2錠でいい人から、5錠分飲まないといけない人まで様々です。効きすぎれば重大な出血の、効きがわるいと脳梗塞のリスクが増してきます。とくに、避難されているような状況だと、血液が固まりやすい要因がいっぱいです。血液検査をしないと調整が難しい薬なわけで、こんな時ほんとに困ったという報告がよせられています。

今は、お薬手帳が薬局で発行され、薬品情報が記載された文書を渡されるので、他の病院に行く時などは必携です。また、血液検査結果なども最近はどこの病院でも患者さんに手渡されるようになっているので、一緒に携行したいものです。

紙からデジタルへ

最初に質問頂いた患者さんの意図はそのような薬や検査の情報に加えて、病状を簡潔明瞭に記載した「まとめ」＝「要約」＝「サマリー」というものだったのでしょう。

入院の場合は、退院の時に「退院時サマリー」というのを書くことが通例ですが、通院の場合は毎回が、細切れで、刻々と変化する状況に必ずしも「サマリー」があったとしても、なかなか追いつきません。診療所では「私のカルテ」「血圧手帳」「糖尿病健康手帳」という手帳サイズのノートに血圧や検査結果などを記載はしていますが、まとまっているとはいえず、発展途上です。

十六年前の六甲道診療所にはまだ電子カルテはなく、引っ越しの度に段ボールの何十箱への出し入れ搬送作業…計3回しました。電子カルテになった今はその手間はなくなりました。災害で倒壊や水びたしになっても大丈夫なようにバックアップを取っておけば、なんとか復帰も可能です。実際佐用や奄美の水害でも、電子カルテでの診療が継続できたという話を聞きます。また、デジタル情報になっていると、患者さんの病状のサマリー（要約）も作りやすいという大きなメリットもあります。

とはいえ、ライフラインが断たれると、電子カルテが動きません。自家発電も燃料がなくなれば限界があります。紙のカルテだと、電気のこないビルでも診療はできました（寒さに負けそうでしたが…）。また、電子カルテでは多量の患者情報の盗難も簡単にできる危険性をはらんでいます。デジタル化には　利便性と脆弱性の両面があることを忘れてはいけません。

患者さん自身が自分の情報を自分のものと持っていても、今回のような命からがら大災害ではすべてを失ってしまうことにもなります。どう「がんばっても」やれることに限界はあることも認識しつつも、今後、危機管理の意識を高めて、ぜひみなさんと一緒に健康を守る立場から、工夫をしてきたいと思います。

今できることを、この神戸で一生懸命やることが大事だと思いながら…

より地域に密着した組合員活動を作り上げましょう！
～3つの診療圏から、5つのブロックへ改組～

組合員の結集軸が、診療圏から、より地域に密着したエリアへと変化・発展

東雲診療所が開設された2001年前後から、診療所建設運動や健康まつりなど、組合員運動の中心は3つの診療圏運営委員会が主体となって取り組んできました。

その後、サークル活動やボランティア活動（2009年度に班会と合わせて「けんこうクラブ」とし、ろっこう医療生協の基本組織へと改組）も盛んになり、直接診療所とは関わりのない組合員や診療所から遠く離れた組合員が多く参加するようになりました。

また、地域の会館や福祉センター、神社の社務所などを借りて、健康チェック活動、たまり場つくり、認知症予防など、支部活動が発展し、組合員の結集軸が診療圏からより地域に密着したエリアへと変化・発展してきました。

ブロック単位で、地域活動をより発展させましょう

この度、こうした活動実態に合わせるため、またより地域に密着した組合員活動を作り上げるために、3つの診療圏を5つのブロックへと改組しました。ブロックでは、構成する支部で共通したテーマを実践していきます。例えば、たまり場づくり、健康チェック活動、平和運動や健康まつりの実施、組合員集会室の利用方法、支部同士の活動交流などです。また、こうした取り組みを確認するため、支部役員が集まってブロック委員会を開催します。定例開催は、年3回とし、必要に応じて開催数を増やすことにしました。

日常の地域活動や医療生協活動は、支部やけんこうクラブが担っていますが、ブロック委員会でも、そのエリアにふさわしい取り組みや企画を開催し、今以上に医療生協運動を発展、推進させましょう。

公　告

第27回　通常総代会について

と　き：6月25日（土）13時～
ところ：シマブンコーポレーション本社ビル・ホール

役員選挙について

役員選挙管理委員会　委員長　山田ツヤ子

役員選挙規約第4条に基づき役員選挙について公告します。役員に立候補する組合員は、4月1日から4月30日までに役員選挙管理委員会事務局（生協本部）へ届けでること。定数は以下のとおりとする
理事定数：30人　　監事定数：4人

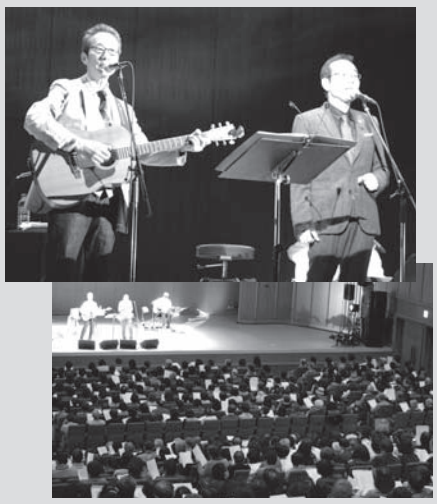
診療圏	支部
灘診療圏	上野
	河原
	篠原
	灘中央
	西灘
	原田
	摩耶
六甲道診療圏	鶴甲
	西郷
	六甲北
	六甲南
	東灘
東雲診療圏	筒井
	葺合
	中央

三つの診療圏から五つのブロックへ
2011年4月1日スタート

ブロック	支部
灘ブロック	上野
	篠原
	灘中央
	原田
	摩耶
とががわブロック	河原
	西灘
	西郷
六甲道ブロック	鶴甲
	六甲北
	六甲南
東灘ブロック	東灘
中央ブロック	筒井
	葺合
	中央

美しい歌声とメロディーに感動

ビリーバンバンコンサート



3月5日（土）新神戸の神戸芸術センターで、ろっこう医療生協創立30周年記念事業のファイナルイベント・ビリーバンバンコンサートが約900名の参加で開催されました。「白いブランコ」「また君に恋してる」などのヒット曲と軽快なトークで会場は大いに盛り上がり、参加された方からは大変好評をいただきました。昨年の春から取り組んできた30周年事業もこのコンサートで終了し、4月からの新年度は悲願の組合員2万人達成に向けての新たなチャレンジが始まります。引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

イキイキ「けんこうクラブ」をご紹介します

★成長する★『男の料理サークル』

近畿の医療生協の交流会で男の料理サークルも盛んで男性も活躍していますよと聞いた。また最近は両親や奥さんの介護で食事の世話に戸惑っているという男性の話を耳にする。

私達世代の男性は仕事しか知らず家事手伝いなんてしたことが無い。子育ての終わった奥さまは、友達とカルチャーだの、ボランテイアだのと留守がち。会社では優秀な人も、家では一人になるとどこに何が有るやら分からない始末。このような男性の息抜き場所にと単純な動機ではじめたのが「男の料理」です。

最初は六甲道勤労市民センターの設備の立派な調理室を借りて、市民講師（女性）に来ていただいたが、参加者の料理の経験のあるなしで、速さや出来栄えに個人差が出てくる。はたして本人の経験になったか否かは疑問が残る。それで、次からは時間・設備をあまり気にしないで使える日曜日の「組合員センター」にし、レシピは自分達が食べたい、作りたいものを各自持ち寄り、その中から本日のレシピを決めるようにした。まず、全員で材料の買い出し。近くには数軒のスーパーがあり食材は豊富。男の感覚で買い物をするため、鮮度や季節外れの高い材料も平気で買ってくる。面倒な下こしらえは無しで、作るのを楽しむのでなくて、作ったものを楽しむことにした。一品料理を数品作るがどうしても酒の肴が主体になってくる。買い物の中には必ずアルコールがあり、多めの料理酒を少し使い後は皆で処分する。これが結構和気あいあいの雰囲気になり話がはずむ。めだかの学校で、当初は誰が生徒か先生かで、基礎も手順も試行錯誤でやっていると、いつの間にか先生が現れて、包丁さばきも教わりながら1年半続いている。

餃子づくりでは包むには包んだが、いざ焼いてみるとアサリみたいに開いていた。次回の再挑戦ではうまくいった。節分にはお持ち帰りの巻きずし。具が多くなりしまりが悪かったので切ると崩れてしまった。奥さんの評価はどうだったであろうか?見かけは悪いがシャリは一流です。

私たちは、毎月第4（又は第3）日曜日の9時半から六甲道組合員センターで活動しています。「こんな料理はどうだ」とか、「こんな郷土料理があるぞ」とか、一応男の料理サークルなので、奥さまでしたら、旦那さんにレシピを持たせ「こんなのがあるよ」とサークルへ送り出して下さい。私たちのサークルは日々成長しています。（代表：大﨑雅勝）

組合員各位　　2011年3月

個人情報を含むノートパソコンの紛失に係わるお詫びとご報告

ろっこう医療生活協同組合 理事長 村上正治

このたび、ろっこう医療生活協同組合におきまして、個人情報が含まれたノートパソコンを紛失いたしました。紛失したノートパソコンは、従来、骨粗鬆症チェックに使っている機器のセットとして購入したもので、チェック受診者のデータが入っております。大切なデータを失ってしまいましたことを深くお詫び申し上げるとともに、本件に関する経緯及び今後の対応について、以下のとおりご報告申し上げます。

1. 紛失の経緯

2011年2月25日（金）、骨粗震症チェックに関する個人データが記録されたノートパソコンが、所定の場所から無くなっていることが判明しました。紛失の発覚後、すみやかに対策本部を設置し、警察署への紛失届を提出したうえで、現場周辺やろっこう医療生協の全事業所など全力を挙げて捜索をしておりますが、未だ、発見には至っておりません。

2. 紛失したデータ（個人情報）

紛失したノートパソコンには、最大で約7千件の個人情報が保存されていたと推測いたします。その内容は、カタカナ名、生年月日、男女別、骨粗鬆症チェック検査日と検査結果、ID（電話番号を一部流用した10桁の数字）でした。なお、紛失データのバックアップができていないため、該当者を特定することができません。このことで、骨チェックを経年受診されていた方々には、従来データを比較することができなくなりました。申し訳ありません。

3. 本件の対応と再発防止策

ろっこう医療生活協同組合では、個人情報保護法に関する基本方針を設定し、情報管理体制の維持・運用と、全職員に対する教育・指導を行っておりましたが、皆様の大切な健康チェック記録を紛失したことを、現在猛省いたしているところであります。

また、紛失発覚以降、理事会を始め、対策会議等を重ね、今後の再発防止策として、個人情報を持ち出すときのルールや保管方法の再徹底、パソコンのチェーン拘束や書棚施錠管理など本部事務所のセキュリティー再徹底を実施し、さらに全職員に対する教育・指導強化を行っているところです。

また、現時点では、当該個人情報の第三者への流出や不正利用等の被害が発生した事実は確認されておりません。今後万一、そのような被害が生じた場合には、誠意をもって対応させていただく所存です。

本件に関するお問合せ窓口

お問合せやご意見等ございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い致します。

ろっこう医療生活協同組合対策本部：常務理事 古市賢二
TEL 078-802-3424　FAX 078-802-1649
E-rnail：honbus@rokko-mcoop.or.jp

受付時間は、月曜日～金曜日（除く祝日）午前9時～午後5時とさせていただきます。

読者のおたより
～数独パズル・サポーターズアンケートから～

●写真がたくさんあり、知った人を見つけるのが楽しかったです　（東灘区魚崎北町 H）
●塩分摂取量 6g は一人では達成しにくいと思いますのでみんなで励まし合って行うのはいいですね　（灘区鶴甲 K）
●原田の森ギャラリーに行きすばらしい作品、歌や踊り等が、毎日のがんばりの結果が素晴らしく感激しました　（灘区岩屋北町 U）
●組合員の方達が楽しんで活動されている様子が伝わってきました、いつか私もお仲間に入りたいと思いました　（東灘区住吉本町 M）
●おすすめメニューの「体ぽかぽかメニュー」さっそく作ってみました。最高においしかったです　（兵庫区菊水町 O）

おすすめメニュー 花粉症予防メニュー

- 豚肉のごま炒め青しそ風味
- キャベツと卵の生姜和え
- うの花
- ごはん
- みそ汁

エネルギー	605kcal
たんぱく質	22.4g
脂質	20.0g
炭水化物	80.8g
塩分	4.6g

花粉症は原則的に自然治癒できないといわれていますが、体質を改善することで、症状を軽減できます。焦らず有効成分を日常的に取り続けることで、体質改善をめざしましょう。アレルギー症状を抑制・緩和する働きがある「青しそ」「生姜」を使ってあっさりと仕上げました。香ばしい炒りごまの香りで。薄味でも美味しく食べていただけます。

【資料提供】ウオクニ株式会社　（灘診療所の給食業務等を委託しています）

数独にチャレンジ！

【ルール】
①あいているマスに1～9までの数字のどれかをいれます
②タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線でかこまれた3×3のブロック（9マスのブロックが9つ）のどれにも1から9までの数字がひとつずつ入ります。
③全部の数字が入ったら　問題の足し算を解きましょう。

	2	6		3				7
	5	4		7		1	3	
7			6		8			2
3			8		6		9	4
	8		Ⓐ	2		3	Ⓑ	
6	1		3		9	8		5
2		3	1		7		5	9
	9	7	2	6		4	1	
	Ⓒ	8		9	4	7		

Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ＝(　　)

前回の答え
18（Ⓐ:6+Ⓑ:6+Ⓒ:6）

●ハガキにクイズの答えと「健康いちばん」をお読みになった感想、住所・氏名・電話番号・年齢を書いて送って下さい。
●**送り先**／〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11 ろっこう医療生活協同組合「健康いちばん係」まで
●**締切日**／4月末日
※正解者の中から抽選で5名様に図書カード500円分を送ります。

第二三回理事会報告

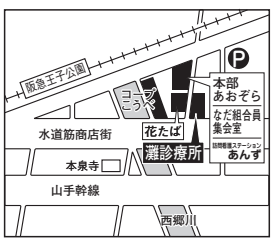
《二〇一一年三月二六日》

一. **30周年記念事業のまとめの件**
芸術&スポーツフェスタ
ビリーバンバンコンサート
二. **東日本大震災への支援活動の件**
経過と現状について
今後の支援活動について
具体的な被災地関係方面へのお見舞いについて
三. **2011年度方針および予算の件**
組合員活動方針（案）について
経営活動、教育学習活動、機関運営について
2010年度決算見通しと2011年度予算について
四. **第27回通常総代会の課題の件**
全体のスケジュールについて
役員改選について
五. **パソコン紛失事故の件**
六. **経営・人事課題の件**
当面の設備投資計画について
組合員活動支援部の設置と事務系職員の配属計画について
労組からの春闘要求について
七. **当面の活動課題**
八. **その他**

◆あなたの健康を守る医療生協のネットワーク◆　一般診察、健康診断、予防接種、訪問診察、介護保険のご相談などお気軽に最寄りの診療所まで

灘診療所
内科・整形外科・胃腸科
放射線科・外科

通所リハビリテーション「つどい」
電話078-801-6665
神戸市灘区水道筋6-6-3
http://www.nada-cl.jp



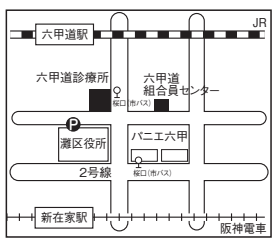
入院随時（12床）

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 2:30～ 4:30	○	○	○		○		
午後 4:30～ 7:30	○	○	○	○	○		

※日曜日と祝日は休診

六甲道診療所
内科
小児科

電話078-811-0555
神戸市灘区桜口町4-5-12
http://www.cl-rokkomichi.com/

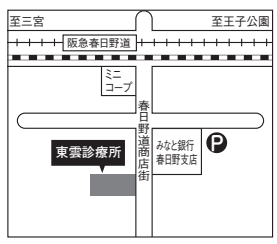


9ヵ月乳児健診〈予約制〉

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 7:00	○	○	○		○		

東雲診療所
内科・糖尿病内科
リハビリテーション科

電話078-262-7236
神戸市中央区東雲通1-4-24
http://shinonome-cl.jp/



〈介護保険事業〉ケアプラン
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーションなど

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	
午後 4:00～ 6:30	○	○	○		○		

ろっこう医療生活協同組合

〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-7-11
TEL 078-802-3424　FAX 078-802-1649
URL:http://www.rokko-mcoop.or.jp/
e-mail nakama@rokko-mcoop.or.jp

お引越時は住所変更届をお願いします。出資金についてのお問合せや医療生協へのご意見、ご要望はこちらまで。

通所リハビリテーション	つどい	TEL.078-801-6711
訪問看護ステーション	あんず	TEL.078-802-3661
ホームヘルプサービス	あおぞら	TEL.078-805-1023
ケアプラン	医療福祉相談室	TEL.078-805-6877
小規模多機能	とががわ	TEL.078-414-7014